

令和5年度



学校だより  
8・9月号

令和5年8月28日

# かわかみ

横浜市立川上小学校

横浜市戸塚区秋葉町203-2 電話 811-9345 FAX811-5961

## 楽しみをもって臨み、楽しみ尽くす

学校長 堀部 尚久

猛暑日の連続記録、過去に類を見ない最高気温記録の更新を連日耳にした38日間の夏休みを終え、今日からまた前期後半の教育活動が始まりました。今夏は、コロナ禍前の生活様式に加速度的に戻っていく状況下、様々な制限が解除され、「久しぶりの夏」、「何年ぶりの夏」という光景が各地でうかがえました。一方で、熱中症への対策・対応や、台風がもたらした記録的な豪雨等による自然災害、子どもが被害者となる痛ましい事件・事故の報告も、相変わらず絶えない夏休みでもありました。本校の子どもたちにおいては、体調を崩して静養を余儀なくされたという報告もありましたが、事件・事故を含めて生命に関わる重篤な事態に至ったという報告はなく、多くの子どもたちは、友達との再会を楽しみにしながら今日の夏休み明け登校を迎えたことと思います。この休み中、保護者の皆様をはじめ、子どもたちを温かく見守りながらお世話をいただきました地域の皆様方には、深く感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

子どもたちの夏休み中の活動としても、今年は草花への水やりや稲の観察をするために来校し、その成長の様子を観察記録として整理している姿も見られました。また、地域行事への参画機会として、7月29日(土)には、特別合唱クラブ、ダンスクラブの子どもたちが、「AKIBA 夏フェス 2023」のアトラクションに参加することも叶いました。この日のために、こつこつと練習を重ねてきた子どもたちの合唱や創作ダンス表現は、フェスティバルに参加された保護者・地域の皆様からたくさんの拍手と大きな声援をいただきました。夕刻からの開催ではあっても、屋外の炎天下、賑やかなお祭りの雰囲気の中で、終始笑顔を決やさず、集中力を切らさず、合唱やダンスを披露し続けた子どもたちの姿から、健気にひたむきに頑張ろうとする心意気が伝わり、一緒にその姿を目にした本校職員とともに、素晴らしい感動を味わう時間を共有することができました。

さて、盛夏の中で行われた甲子園球場での全国高等学校野球選手権大会では、本県代表校が「時代を超えた歴史的な優勝」という偉業を成し遂げました。日々の自主的なたゆまぬ練習を重ねた上で、部訓として掲げた「エンジョイ・ベースボール」を貫き、苦戦を強いられたときでも、常に爽やかな笑顔を見せて快進撃を続けた「夏の王者」たちの姿には、たくさんの人が感動をもらい元気付けられました。優勝後の「エンジョイ・ベースボールは、野球を楽しみ尽くすことだと思います。僕たちは楽しみ尽くせました。」という選手のインタビューでの言葉は、特に印象に残りました。この球児たちが「楽しみ尽くした姿」は、「AKIBA 夏フェス 2023」で特別音楽クラブ、ダンスクラブの子どもたちが見せてくれた「笑顔で歌い続けた姿」「笑顔で踊り通した姿」と重なりました。そう考えたとき、川上の子どもたちも、日々の練習を重ねてやり遂げたという自信をもって、「楽しみ尽くせた」という思いをもつことができたに違いありません。

夏休み明けの今日の朝会では、これからも毎日楽しみをもって過ごせるよう、「みんなでさらに素敵な学校にしていくこと」、そのためには、「4月に立てためあてや目標を手掛かりとして前期後半の過ごし方について考えること」などを話しました。一人ひとりの個人のためあてとともに、集団としてのクラスや学年のためあてをもとに、「自分は、どこまで今のめあてに迫れているか」、「クラスや学年は、どこまで今のめあてに迫れているか」ということをみんなで確かめ合って、少しでもめあてに迫ろうという気持ちを持ちながら、今日からの川上小学校での学校生活に「楽しみをもって臨んでほしい」という願いを伝えた話です。

これまでの仲間づくりによって、子どもたち同士のかかわりも着実に厚みを増していると思われます。心の繋がりに、手ごたえや深まりが感じられてきていると思われます。夏休み明けの教育活動も、何事に対しても、特別合唱クラブやダンスクラブの子どもたちが見せた、「楽しみをもって臨み、楽しみ尽くす」という子どもたちの姿を念頭に置きながら、日々の学びづくり、生活づくりに努めてまいります。子どもたちが学校生活のリズムを取り戻すまでには、しばらく時間が掛かることもあるかと思われます。子どもたちの不安を軽減し、安全・安心に留意し、笑顔で学校生活が送れるよう、さらに気持ちを引き締めて支援に取り組む所存です。

地域の皆様には、引き続き本校の教育活動へのご理解をいただくとともに、保護者の皆様には、子どもたちの健康観察や精神的な安定に向けたご家庭での見守り等、生活習慣の再確認とともに、子どもたちが、「楽しみをもって」頑張り、「楽しみ尽くした」姿に対しての温かい声掛けや価値付けをよろしく願いいたします。